

【岐阜女子大学】メタデータ記述用紙

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	沖縄の歴史上人物
3	資料名	百十踏揚／百十踏揚の墓
4	内容分類	郷土・歴史
5	索引語	南城市、百十踏揚、百度踏揚、墓、尚泰久王、阿麻和利、大城賢雄
6	説明	<p>百十踏揚（ももとふみあがり、生没年未詳）は、琉球王国第一尚氏王統の尚泰久王（在位 1454～1460）の王女です。彼女は王命により勝連按司の阿麻和利に嫁ぎ、政治的な婚姻の一環を担いました。その後、阿麻和利が謀反を企てたとして討たれると、大城賢勇（鬼大城；越來賢雄。15世紀琉球王国の武将で、鬼大城の名で知られる。越來は後に越來間切の総地頭となって以降のものであり以前は大城賢雄であった）に降嫁したと伝えられています。</p> <p>『おもうさうし』には〈百ぢやらの主てだ、成りよわちへ〉と詠まれており、王女として華やかな地位にあったことや、神女として靈力を持ち活躍していた姿をうかがうことができます。百十踏揚は「神女名」としても知られており、政治権力の中枢において宗教的な役割を果たした女性でもありました。</p> <p>しかし、彼女の生涯は権力闘争に翻弄されました。二人の夫—阿麻和利と大城賢勇一はいずれも非業の死を遂げ、百十踏揚は政略結婚の犠牲者として不幸な運命を辿ったといえます。特に賢勇の死については「尚泰久王の命による誅殺説」と「第二尚氏による攻伐説」があり、真相は定かではありませんが、いずれも政治的対立の中で命を落としたと考えられています。</p> <p>参考1：らしいね南城市 沖縄県南城市観光ポータルサイト, https://www.kankou-nanjo.okinawa/, [アクセス 2022/12/03]</p> <p>参考2：辺戸名朝有「百度踏揚」 沖縄大百科事典刊行事務局『沖縄大百科事典』下巻 沖縄タイムス社 p. 677.</p>
7	形式	静止画 (jpg)
8	氏名	*****
9	時代・年	
10	地域・場所	沖縄県南城市玉城富里
11	利用条件	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0) で提供
12	関連資料	なし
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	なし
15	登録日	2022/12/03
16	登録者	友利美唯

17	ファクトデータ	circd074v-0036.jpg
18	サムネイル	
19	公開の可否	公開可
20	*特色	<ul style="list-style-type: none"> 現在、百十踏場の墓は南城市玉城富名腰の陸上競技場（国民運動場）の東側、仲栄眞腹門中の近くに移されています。元は「西ヒチ森の大岩」に安置されていましたが、1962 年に中学校建設に伴いこの地に移転されました。 弟の三津葉多武喜（みつばたぶき）の墓と合祀されています。 墓の入口には説明板も設置されています。
21	*活用支援	
22	*利用分野	教育、生涯学習、地域学習
23	*改善結果	
24	*処理プロセス	
25	機関外リンク情報	
26	目標	
27	紹介	